

2023 年 12 月 27 日

関東ラグビーフットボール協会  
理事長 大原 俊一 様  
関西ラグビーフットボール協会  
理事長 松原 忠利 様  
九州ラグビーフットボール協会  
理事長 御領園 昭彦 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会  
専務理事 岩渕 健輔  
安全対策委員長 齋藤 守弘

### 脳振盪報告書の改訂について(通達) 【安全対策】

平素は日本ラグビーの普及発展に多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

「脳損傷、硬膜下血腫」受傷後の競技復帰についてのガイド追加(通達)を2023年11月9日付で発信しました際に、「脳振盪報告書の改訂」のガイド追加・プロセス変更についてお知らせいたしました。<https://www.rugby-japan.jp/news/52279>

今回、脳振盪報告書の改訂の重要性の観点より、皆様への周知のために、再度、通達を発信することとしました。報告書の変更箇所・運用について、ご確認をお願いいたします。

#### 【『脳振盪報告書(兼脳損傷等報告書)』への改訂】

脳損傷や急性硬膜下血腫を書き込めるように脳振盪報告書(兼脳損傷等報告書)に改変し、この報告書により従来通り脳振盪及び脳振盪の疑い、上記の説明による脳損傷、急性硬膜下血腫など、重症傷害に当てはまらない頭部外傷を、この報告書により報告を求めることとします。変更箇所は以下の通りとなります。

#### ① 脳損傷の定義について説明文を追加、および報告者の役割を細分化

脳振盪報告書(兼脳損傷等報告書) ( <input type="checkbox"/> 脳振盪 <input type="checkbox"/> 脳振盪の疑い <input type="checkbox"/> 脳損傷 <input type="checkbox"/> 急性硬膜下血腫)	
該当する頭部外傷に✓を入れて下さい。重複しても構いません。 この報告書の脳損傷とは CT/MRI 等の画像によって診断される骨や脳の外傷とします。例として、急性硬膜外血腫、脳挫傷、外傷性くも膜下出血、眼窩骨折を含む眼蓋骨骨折等であり、単なる頭皮の傷は含みません。以下に医師から知らされた診断名を記入して下さい。	報告日 西暦 年 月 日 報告者氏名 <input type="checkbox"/> チーム責任者 <input type="checkbox"/> チームドクター <input type="checkbox"/> チームトレーナー <input type="checkbox"/> チーム SA <input type="checkbox"/> マッチドクター <input type="checkbox"/> レブリー
脳損傷等の診断名 ( )	連絡を取りやすい連絡先(電話やメール)
変更者(選択肢があるものには✓をつける)	
氏名	生年月日 西暦 年 月 日 年齢 歳
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
チーム名	<input type="checkbox"/> 15人制 <input type="checkbox"/> 7人制 <input type="checkbox"/> その他( ) ポジション( )
カテゴリー	<input type="checkbox"/> スクール <input type="checkbox"/> 中学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 高専 <input type="checkbox"/> 大学 在籍する学校の学年 年生
	<input type="checkbox"/> 社会人(含む LEAGUE ONE) <input type="checkbox"/> クラブ <input type="checkbox"/> その他( )
所属都道府県協会	協会

## ②「受傷時の症状」項目を簡素化

受傷の状況（選択肢があるものには✓をつける）					
受傷日	西暦	年	月	日	場所
受傷時のプレー					<input type="checkbox"/> 試合
<input type="checkbox"/> タックルをした					<input type="checkbox"/> タックルをされた
<input type="checkbox"/> ラック・モール					<input type="checkbox"/> 不意の衝突
<input type="checkbox"/> スクラム					<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> その他（ ）					<input type="checkbox"/> 練習
頭部打撲の対象					相手選手の（ <input type="checkbox"/> 膝 <input type="checkbox"/> 腕 <input type="checkbox"/> 頭 <input type="checkbox"/> その他）
<input type="checkbox"/> 味方選手					<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> その他					
<input type="checkbox"/> 頭部に衝撃を受けた後ピッチにも頭部をぶつけた					<input type="checkbox"/> 逆ヘッドタックルだった（該当すれば✓を入れる 複数可）
受傷時の症状（当てはまる症状に✓をつける。複数回答可）※SCATでの症状の確認および記録を推奨					
<input type="checkbox"/> A 意識消失/意識消失の疑い					
<input type="checkbox"/> B けいれん発作					
<input type="checkbox"/> C 硬直姿勢					
<input type="checkbox"/> D 立ち上がれない/バランスが悪い					
<input type="checkbox"/> E 混乱している					
<input type="checkbox"/> F ぼーっとしている/表情が乏しい/うつろな表情					
<input type="checkbox"/> G 見当識がない(場所や時間がわからなくなる)					
<input type="checkbox"/> H 行動が変わった(感情的になる/いらだつ)					
<input type="checkbox"/> I 健忘(思い出せない)					
<input type="checkbox"/> J 頭痛					
<input type="checkbox"/> K マドックの質問に不正解					
<input type="checkbox"/> L その他（ ）					

## ③見舞金請求書の提出、および重症傷害報告書の提出に関する案内文の追加

大切な事柄
この報告書は見舞金制度の『傷害報告書1（見舞金請求書）』とは異なります。見舞金に関わる場合は別途、『傷害報告書1（見舞金請求書）』を提出して下さい。また、下記に示す重症傷害に該当する場合は、本報告書及び『傷害報告書1（見舞金請求書）』とは別に、『重症傷害報告書』を提出して下さい。 本報告書は個人非特定のもと日本ラグビーフットボール協会の安全対策のための資料として使用されます。 脳損傷や急性硬膜下血腫では、臨床経過の報告やCT/MRI画像の提出を依頼することがあります。 本報告書の提出はラグビー競技への復帰を閉ざすものではありません。提出へのご協力をお願い致します。
重症傷害報告書を提出する必要がある外傷
1 頭蓋骨骨折の有無に関係なく24時間以上の意識喪失を伴う障害 2 四肢の麻痺を伴う脊髄損傷 3 死亡 4 開頭および脊椎の手術を要したもの 5 胸・腹部臓器で手術を要したもの 6 1～5のほか診断書で重症と思われるもの (6については、緊急手術を要する傷害、長期入院を要する傷害等、重傷と思われる傷害をさす)

2023年12月20日作成

### 【報告書の運用について】

2023年度は移行期間として、仮に従来の『脳振盪/脳振盪の疑い報告書』の提出があった場合でも受付可能とさせていただきます。

ただし、2024年度以降（2024年4月1日以降）は『脳振盪報告書（兼脳損傷等報告書）』へ全面移行となりますので、重ねてお願い申し上げます。

当通達についての問い合わせは、日本ラグビーフットボール協会安全対策委員会委員長の齋藤までお願いいたします。（連絡先 m.saito@rugby-japan.or.jp）

■通達対象：都道府県、都道府県協会安全対策委員長、加盟チーム

■文書作成・問い合わせ先：日本ラグビーフットボール協会 安全対策委員会、テクニカルサービス部門

以上

### 添付資料

- ・ 脳振盪報告書（兼脳損傷等報告書）改訂について
- ・ 脳振盪報告書（兼脳損傷等報告書）
- ・ 傷害報告ガイド